

第5学年 国語科学習指導案

児童 5年2組 男19名 女11名 計30名

- 1 単元名 目的に応じた伝え方を考えよう
教材名 「ニュース番組作りの現場から」
「工夫して発信しよう」 (光村図書 5年下)

学習指導要領 第5・6学年 <読むこと>

- ・目 標：「目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。」
- ・主たる指導事項：「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたりにすること。」
<読(1)ウ>

2 単元について

(1) 児童について

児童は「続けてみよう」(5年上)において「新聞記事やニュース番組を話題にしたスピーチに関心をもち、続ける意欲をもつ。」ことを目標とし、これまで帰りの会で活動を行っている。社会への興味・関心が高まり、新聞やニュース番組から情報を取り入れるようになってきている。

説明的な文章の学習として、5年生では「サクラソウとトラマルハナバチ」において、植物と昆虫の共生関係を考えながら、文章全体の構成から要旨を読み取ることが学習してきた。「千年の釘に挑む」では、段落相互の関係や筆者の表現の工夫を考えながら、要旨を読み取ることが学習してきた。

また、4年生では『「伝え合う」ということ』『生活を見つめて』、5年生では「言葉の研究レポート」で情報を発信する学習をし、調べ、整理し、発表する活動を行っている。

本単元では、「番組作りに大切なこと、気をつけること」をとらえること自体が、要旨をとらえることとつながってくる。そして、それが「工夫して発信しよう」における自らの活動に直接生かされていくことになる。目的意識を明確にもちながら学習を進めていきたい。

(2) 教材について

本単元は、「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の複合単元である。ニュース番組を教材として取り上げ、作り手の意図や願いをもとにどのように作られているのかを知り、その上で自分たちで伝える内容や方法を工夫して発信することをねらいとしている。

教材文「ニュース番組作りの現場から」は、ニュース番組の特集の作り方をまとめた文章である。報道スタッフの役割や詳しい仕事の内容が時系列に沿って書かれており、一つの番組が作られていく工程がとらえやすい。内容を的確に読み取ること、その後の「工夫して発信しよう」のための手引き・解説書となる役目を果たすよさもある。

「工夫して発信しよう」では、ニュースの受け手にとって意味のある話題をどのように伝えるかを考え、実際に発信するという活動を行う。「知って考えてほしい」という願いをもって話題を決め、材料を選び、編集する活動は、子どもたちの興味・関心をもとにしながら情報活用能力を育成するのに適している。

(3) 指導に当たって

第1次では、視点を与えて初発の感想を書かせ、それをもとにして学習課題を決める。その際、第3次で情報を発信するための活動を行うことを知らせ、見直しをもって学習を進めよう。それに関連して、帰りの会で行っている「1分間スピーチ」では、テレビや新聞のニュースを情報源として、自分の考えを発表することを継続していきたい。

第2次では、「話題選び」「取材」「インタビューや撮影」「編集」「放送原稿を書く」という番組作りの過程で大事な点や気をつけたい点を、①題名に着目する②文末表現に気をつける③主語

や述語を補って読む④繰り返しの語に着目して読む、などの活動を通して確実に読み取ることができるようになりたい。また、読み取ったことだけでなく、その事について自分はどう考えるのか話したり書いたりして、友達と感想を交流することで考えを深める活動を取り入れる。

第3次では、ビデオニュース作りに取り組む。まず、前時までの学習と「工夫して発信しよう」から情報発信までの手順を確認する。その後、グループ毎に「知って考えてほしいこと」を企画会議で出し合い、どんな話題を取り上げるかを決め、取材・編集・発信を通して、送り手側の意図や工夫点を明らかにしていくことにより、児童の情報活用能力を高めていく。

3 指導目標

【国語への関心・意欲・態度】

- ・ ニュース番組を発信することに興味をもち、伝え方や内容を工夫しようとする。

【話すこと・聞くこと】

- ・ 発表したい内容や方法、取材や編集などの計画について、手順を考えながら発表することができる。 <話・聞(1)ア>

【書くこと】

- ・ 伝えたいことをどのように伝えるかを考え、材料を集め、編集することができる。 <書(1)ア>

- ・ 知ってほしいことを明確にし、必要のある事柄を整理して書くことができる。 <書(1)イ>

【読むこと】

- ・ 番組作りで大切なことを的確に押さえながら、番組の作り手の願いを読み取ることができる。
- ・ 自分たちが番組を作るために必要な事柄を、時系列に沿って段落毎に読み取ることができる。 <読(1)ウ>

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・ 自分の目的や意図に応じた文章の構成を理解し、活用することができる。 <伝(1)イ(キ)>

4 指導計画（14時間）読む 7時間 話す・聞く 2時間 書く 5時間

段階	時	学 習 活 動	評 価 規 準
第1次	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビデオニュースを作るために教材文を読むことを理解する。 ・ 教材文を通読し、感想をもつ。 ・ 学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初めて知ったことや興味を持ったことを書く。 <関・意・態>
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「特集」の内容をおさえる。 ・ 教材文を番組作りの過程に沿って分ける。 ・ 全体の構成を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 番組作りの過程に沿って教材文を分けている。 <読(1)ウ>
第2次	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1～3段落を読む。 ・ 特集として伝える出発点が、驚きと疑問であることを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 番組作りの過程で大切なことを読み取っている。 <読(1)ウ>
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4～7段落を読む。 ・ 取材で求められていることは正確さであることを読み取る。 ・ 取材が、出発点の疑問解決のために行われることを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達との考えの交流を通し、自分の考えを広めている。 <読(1)ウ>
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8～11段落を読む。 ・ 分かりやすく伝えるための、それぞれの過程での工夫を読み取る。 ・ どの過程でも出発点の疑問解決を大切にしていることを読み取る。 	

	6 本 時	<ul style="list-style-type: none"> 12 段落を読む。 番組作りの過程を確認する。 作り手の願いを読み取る。 	
第 3 次	7	<ul style="list-style-type: none"> 作り手として番組内容を考える。 受け手にとって関心と呼ぶ内容かどうか検討する。 企画書を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 学んだことを生かして発信する内容を考えようとしている。 ＜関・意・態＞
	8	<ul style="list-style-type: none"> グループで企画会議を開き、自分たちで発信する特集を決める。 受け手と作り手の立場から、学級全体で特集について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表したい内容や方法などの計画について、手順を考えながら発表している。 ＜話・聞(1)ア＞
	9 10 11	<ul style="list-style-type: none"> 出発点の驚きや疑問を大切にしながら、役割分担をし、取材やインタビュー活動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的を明確にして、必要な材料を集め、整理して書いている。 ＜書(1)ア＞ ＜書(1)イ＞
	12 13	<ul style="list-style-type: none"> 受け手を考え編集する。 放送原稿を書く。 	
	14	<ul style="list-style-type: none"> ビデオニュースを見合う。 単元の学習を振り返り、情報の受け手と送り手としての思いをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ビデオニュース作りの願いをもとに、考えを交流している。 ＜関・意・態＞

5 本時の指導

(1) 目標

報道スタッフが、どんな願いをもって番組を作っているか読み取り、まとめることができる。

(2) 指導に当たって

① 対話について

教材文の読み取りで分かった報道スタッフの考えていることを念頭に置き、ビデオ「ニュース番組ができるまで」の報道スタッフの考えをノートに書く。そして、自分の考えを確認したり、自分の気付かなかった報道スタッフの考えを確認するために対話する。共通点や相違点に気付き、一人一人の考えが広がったり深まったりすると考える。

② 学び合いについて

対話で出されたそれぞれの考えを全体で出し合う。教材文とビデオ「ニュース番組ができるまで」の内容の共通点を考えることにより、どの番組も「報道スタッフの願い」によって作られていることに気付かせたい。また、「考えてほしいこと」が、第3次での、送り手の「知って考えてほしいこと」を考える際の、大きな手がかりになることも気付かせたい。

(3) 展開

段階	時間	学習内容と活動 活動（・） 主発問（○）	指導上の留意点（・）と評価（◎）
見 通 す	5 分	1 前時までの学習を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> 掲示物を使いながら前時までの学習を確認する。 課題を一斉読みをし、確認する。
		2 本時の学習課題を確認する。 報道スタッフは、どんな願いでニュース番組の特集を作っているのか考えよう。	
		3 学習場面（形式段落⑫）を音読する。 ・学習範囲を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 一斉読みをして学習場面を確認する。

深 め る	<p>3 4 学習課題を解決する。</p> <p>5 (1) これまで学習した「番組作りの過程」を想起し、⑫段落と対応させながら「報道スタッフ」の仕事と工夫していることについてまとめる。</p> <p>(2) 実際に「ニュース番組ができるまで」のビデオを見て、報道スタッフの願いを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人学びをする。 ○ 報道スタッフは、どんな願いで番組を作っているのでしょうか。 <p style="padding-left: 2em;">「報道スタッフは、どんなことを考えて、ニュース番組を作っているでしょう。ノートに書きましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ノートに考えを書く。 ・ 対話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ⑫段落の文章が、時間の順序に従い「番組作りの過程」に対応していることに気付かせる。 ・ 番組作りの5つの過程と関連して「報道スタッフ」の仕事と工夫していることが対応できるようにする。 ・ メモを取りながら、ビデオの内容を整理する。 ・ メモをもとに、それぞれの報道スタッフの仕事や思いが伝わる言葉を使って自分の考えを書くようにする。
	<p>T : 報道スタッフはどんなことを考えて番組を作っているのでしょうか。また、共通点や相違点を見つけて、互いに話し合しましょう。</p> <p>A : 私は、「語りかけるように、分かりやすいように。」という言葉から、キャスターはニュースを見ている人に伝わるように気を付けて原稿を読んでいると思います。</p> <p>B : 僕は、「あのニュースよかったよと、言われた時が嬉しい。」という言葉から、番組を見ている人に、大切なことが伝わった時に取材した人が仕事の喜びを感じていると思います。</p> <p>A : キャスターも取材する人も、見ている人に伝えたいことが伝わるように思いながら番組を作っているのですね。</p> <p>B : 役割は違うけど、同じ思いで番組を作っているんですね。</p>	
	<p>(3) 対話したことをもとに全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ それぞれの「報道スタッフ」は、どんな願いで番組作りをしていますか。 <p>(4) 課題のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体で出された考えの共通点から、⑫段落のまとめの言葉に着目する。 ○ 「報道スタッフは、□□という願いを込めてニュース番組を作っている。」とまとめましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対話で話されたことを確認する。 ・ それぞれの「報道スタッフ」の願いをまとめる。 ◎ 全体で交流したことをもとに、報道スタッフの願いをまとめることができる。 ・ 全体で出された考えの共通点が⑫段落のまとめの言葉につながることに気付かせる。
	<p>報道スタッフは、「知って、自分のこととして考えて欲しい」という願いをこめてニュース番組の特集を作っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もう一度ビデオを見て、学習したことを確かめる。 	
ま と め る	<p>5 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学んだことを番組作りにどのように生かしていきますか。 <p>7 次時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビデオ後半を見て、ビデオの内容と⑫段落で筆者が言いたいことが同じであることを確認する。 ・ 今後の学習につなげるため、ニュースの受け手から送り手に立場を変えて振り返る。 ・ 学んだことが、今後の学習にどう生かされそうか話すことができる。

